

生活再建優先の滞納対策—滋賀県野洲市を視察



市役所内に設けられたハローワークの出先機関「やすワーク」



党議員団は、生活再建最優先の納税相談を進めている滋賀県野洲市を行政視察しました。

野洲市が滞納相談の質を变気軽に立ち寄れる窓口で多くを助けて来た市民生活相談課

えたきっかけは、消費生活相談センターの多重債務相談でした。専門家の力を借りて債務整理をし、戻って来た過払い金から滞納を払い、市民が笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。

この経験が、滞納問題から市民の困難を発見し、生活を立て直す仕組みづくりにつながりました。

市民生活相談課は庁内の各課と連携し、生活の様々な困難を市民に寄り添い解決していきます。すぐそばに設けられたハローワークの出先機関「やすワーク」で仕事を見つけ、自立して行く人も沢山います。

昨年度分の野洲市の収納率は国保税で94・58%、個人市民税では99・12%と、納税意欲が高くなっています。

「とにかく滞納を減らせ」と差押えをチラつかせ脅かす対応しか出来ないのでは、同じ行政として恥ずかしいのではないのでしょうか？

エピソード9 給食センターパート2

9月議会には、総額34億円の新学校給食調理場建設の請負契約が上程されました。学校給食特別会計についても補正予算案が出され、なぜか国の補助金1億4371万円余が消え、借入金が1億3650円増えています。事前に担当者の説明を求め、耳を疑いました。「国からの補助金が全く出ないので、全額市費で作ることになった。」と言うのです。

「そんなバカな！」と文科省に問い合わせたところ、当初予算枠が少なく、建て替え事業は当初予算で申請しても補助金は出ない。補正予算で申請すれば予算はつくと説明してきたのに、市は全く対応しなかった、との答えでした。補助金の仕組みを理解していれば、それに合わせた事業展開が可能だったはず。「申請しておけば当初予算が付くはず」といういい加減な思い込みの事業運営で、今年度・来年度合計3億5千万円余の補助金をもらい損ねた訳です。その上議会に隠したまま借金の承認を得ようとする市のやり方が許せません。

多くの市民の反対を押し切り進めた巨大センター建設にしては、間の抜けた話です。市民負担が増えることに気が付かずか、何も言わず賛成する議員も議員です。(K)

無料生活法律相談会

- 弁護士と市議会議員が応談します
- 毎月第4月曜日 午後6時から
- お申し込みは日本共産党市議へ



北島元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44